



最初にご確認ください。

セット内容

切替器本体	1台
ACアダプタ	1個
ラックマウント取り付け金具(ネジ付)	2個
取扱説明書・保証書(本書)	1部

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1	内容物の確認 ・梱包品の確認 ・オプションについて
	特長
2	仕様
3	各部の名称と働き
	パソコンの接続 ・接続の前に ・1台で使用する場合 ・カスケード接続(2段階)する場合 ・カスケード接続(3段階)する場合 ・ホットプラグについて ・電源のオン/オフについて
5	
11	パソコン(CPUポート)の切り換え方 ・ポートID番号について ・手動での切り換え ・ホットキーでの切り換え ・OSDでの切り換え
13	OSDでの切り換え ・OSDメインメニュー画面の表示 ・OSDでの基本操作 ・[F1]GOTO ・[F2]SCAN ・[F3]LIST ・[F4]QV ・[F5]EDIT ・[F6]SET ・OSD用のパスワード
20	本体の積み重ねやラックへの取り付け ・積み重ねについて ・ラックの取り付けについて
21	付録 ・SW-CPU8とパソコンの接続表 ・ホットキー一覧表
22	トラブルシューティング
23	保証規定

はじめに...

この度はCPU自動切替器SW-CPU8(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、1組のキーボード・マウス・モニタで8台のPCを切り替えて使用するための切替器です。本マニュアルは、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

内容物の確認

同梱品の確認

本製品パッケージの内容は、下記の通りです(下記以外に添付紙が同梱されている場合があります)。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

SW-CPU8切替器本体 1台
ACアダプター 1個
ラックマウント取り付け金具(ネジ付) 2個
取扱説明書(本紙) 1冊

オプションについて

本製品とパソコンの接続には専用の接続ケーブルをご使用ください。(別途ご購入ください。)

SW-KB180 長さ1.8mのSW-CPU8専用ケーブルです。
SW-KB300 長さ3mのSW-CPU8専用ケーブルです。

特長

一つのキーボード・マウス・モニタで8台のDOS/V機を切り替えて使用できます。
3段階までカスケード接続することができ、最大512台までのパソコンをコントロールできます。
ソフトウェアのインストール不要。
OSD(オンスクリーンディスプレイ)・ホットキー・プッシュボタンの3通りで切り替えが可能。
オートスキャン機能搭載で接続されたパソコンを自動で切り替えて、各パソコンを監視することが可能。
ホットプラグ対応。パソコンの追加・削除時に切替器の電源を切る必要がないためメンテナンスが簡単。
19インチマウントラックに取り付け可能。取り付け用金具付属。
高解像度1920×1440ドットまで表示可能。

仕様

対応パソコン	DOS/V機(PS/2マウスコネクタ・PS/2キーボードコネクタ・HD(3WAY)15pinディスプレイコネクタを持つ機種)
対応キーボード	PS/2キーボード(ミニDIN6pinコネクタ)
対応マウス	PS/2マウス(ミニDIN6pinコネクタ) シリアルマウスは対応していません。
対応モニタ	HD(3WAY)15pinのコネクタを持つマルチスキャンディスプレイ 解像度1920×1440まで表示可能。 高解像度で使用すると御使用のモニタによっては画質が悪くなることがあります。 液晶モニタの多くはマルチスキャンディスプレイではありません。 液晶モニタをご使用になる場合はPC側の設定でリフレッシュレート(走査周波数)を表示可能な値に設定してください。変更方法は各モニタの取扱説明書をご覧ください。
対応OS	Windows XP/Me/98(含SecondEdition)/95/3.1/2000、 NT4.0/3.5/Linux
最大パソコン接続数	ダイレクト接続時:8台 カスケード接続時:512台
切替方式	手動ボタン、OSD(オンスクリーンディスプレイ)、キーボードからのホットキー切替
インターフェース	パソコン用 ディスプレイ:HD(3WAY)15pin(オス)×8 PS/2キーボード:ミニDIN6pin(メス)×8 PS/2マウス:ミニDIN6pin(メス)×8
	コンソール用 ディスプレイ:HD(3WAY)15pin(メス)×1 PS/2キーボード:ミニDIN6pin(メス)×1 PS/2マウス:ミニDIN6pin(メス)×1
	ACアダプター用 DC-IN×1
ステータスLED	POWER(オレンジ)×1個 電源供給時点灯 ON LINE(オレンジ)×8個 パソコン作動時点灯 SELECTED(緑)×8個 切換時点灯
取得承認	EMI規格 VCCIクラスB
電源仕様	DC9V:1.08W(最大)
動作時温度/湿度	0~40℃/80%以下(結露なきこと)
保存時温度/湿度	-20~60℃/95%以下(結露なきこと)
サイズ	W483×D150×H44.5mm
パッケージサイズ	W555×H243×D140mm
重量	2.850g(本体のみ)

本製品には接続用のケーブルは同梱されておりません。接続には別途専用ケーブルが必要になります。

- ・SW-KB180(CPU自動切替器接続用ケーブル 1.8m)
- ・SW-KB300(CPU自動切替器接続用ケーブル 3m)



注意

本製品の電源が入っている状態では、接続されているモニターの省電力機能が動作しない場合があります。

各部の名称と働き

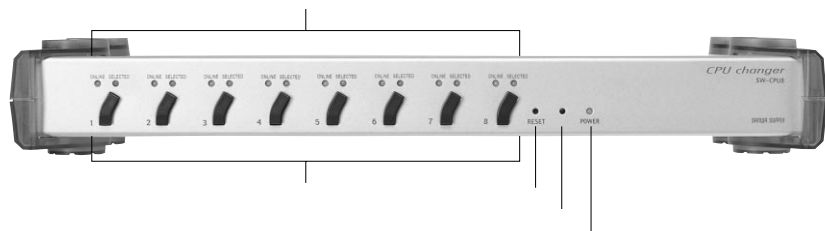


図1.1 SW-CPU8正面図

ポート用LED

上のLED(オレンジ):接続されているパソコンの電源がオンの場合に点灯します。ポートがカスケード接続で他のSW-CPU8に接続されている場合にはランプが点滅します。

下のLED(緑):緑色のランプが点灯する場合は、そのポートが現在選択されていることを示します。ポートがオートスキャンモードの場合にはランプが点滅します。

ポート切り替えボタン

ポートに接続されているパソコンを切り替えるためのボタンです。

ポートを選択する場合は1～8のいずれかのボタンを押します。
1と2のボタンを同時に押すと、キーボードとマウスがリセットされます。
7と8のボタンを同時に押すと、オートスキャンモードが開始されます。

リセットボタン

ウォームブートリセットをする場合に押します。3秒以上押し続けるとコールドブートリセットされます。リセットボタンを押す場合は、クリップなどのような先の細いものを使用してください。

ブザー

ブザー音を発します。

パワーLED

SW-CPU8の電源がオンのときに点灯します。

各部の名称と働き(続き)



図1.2 SW-CPU8背面図

電源コネクタ

ACアダプターのプラグを差し込みます。SW-CPU8は接続されたパソコンから電源が供給されますが、カスケード接続をする場合やパソコンからの電源供給が不安定な場合は、付属のACアダプターを使用してください。

コンソールポート

指定されたコネクタに、モニター・キーボード・マウス、それぞれのケーブルを接続します。カスケード接続の場合は、上段階にあるCPUポートからのSW-CPU8専用ケーブルを接続します。

CPUポート

1～8のポートそれぞれと、使用するパソコンを専用接続ケーブルで接続します。

パソコンの接続

接続の前に



注意

- ・接続を開始する前に、必ず、接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、電源コードをすべて抜いてください。
- ・パソコンやデバイスの損傷などを防ぐために、すべてのデバイスが正しくインストールされているかどうかを確認してください。

1台で使用する場合

カスケード接続をせずに、SW-CPU8を1台で使用する場合の接続方法について説明します。1台のSW-CPU8に8台までのパソコンを接続することができます。

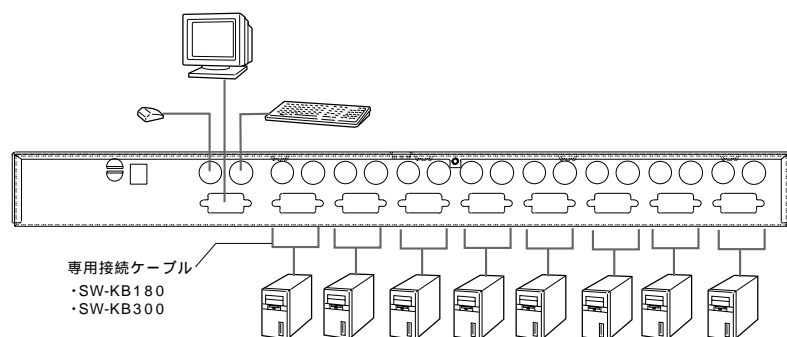


図2.1 接続図(1台)

接続するすべての機器の電源をオフにします。
使用するパソコンにSW-CPU8専用ケーブルを接続します。
コンソールポートのコネクターにモニター・キーボード・マウス、それぞれのケーブルを接続します。(図2.1参照)
CPUポートのモニター・キーボード・マウスのコネクターに、使用するパソコンに接続してあるSW-CPU8専用ケーブルを接続します。(図2.1参照)
ACアダプターを使用する場合は、電源コネクターにACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。



注意

ACアダプターを使用しない場合、SW-CPU8にはキーボードとマウスケーブルを通して電源が供給されます。ただし、使用するパソコンから5Vに満たない3.3Vの電源しか供給されないときは、ACアダプターで外部電源を供給する必要があります。

接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。



注意

ACアダプターを使用する場合は、パソコンの電源をオンにする前にACアダプターをSW-CPU8に接続してください。

パソコンの接続 (続き)

カスケード(2段階)接続する場合

1台のSW-CPU8に他のSW-CPU8を2段階でカスケード接続した場合、最大64台までのパソコンを接続することができます。64台のパソコンを接続する場合は、図2.4のように1~8のCPUポートすべてに、他のSW-CPU8(8台)を接続します。次にそれぞれのSW-CPU8にパソコンを8台ずつ接続します。

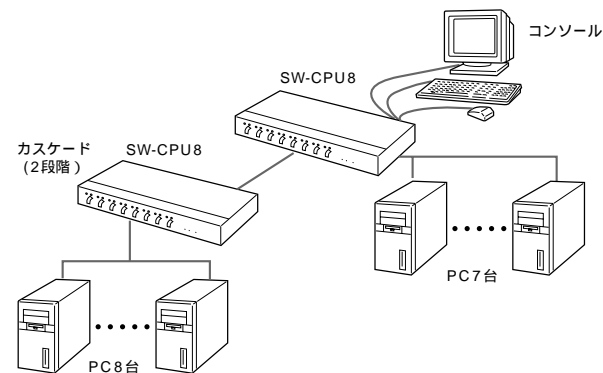


図2.2 カスケード(2段階)接続15台の例



注意

カスケード接続をする場合は別のSW-CPU8を使用してください。異なった機種を使用すると、ホットキーやOSDによるCPUポート切換えが行えません。

接続するすべての機器の電源をオフにします。1段階目でACアダプターを使用している場合は、電源コネクターからプラグを外してください。
2段階目で使用するパソコンにSW-CPU8専用ケーブルを接続します。
1段階目のCPUポート(1~8のいずれか)と、2段階目のSW-CPU8のコンソールポートをSW-CPU8専用ケーブルで接続します。(図2.3参照)

パソコンの接続 (続き)

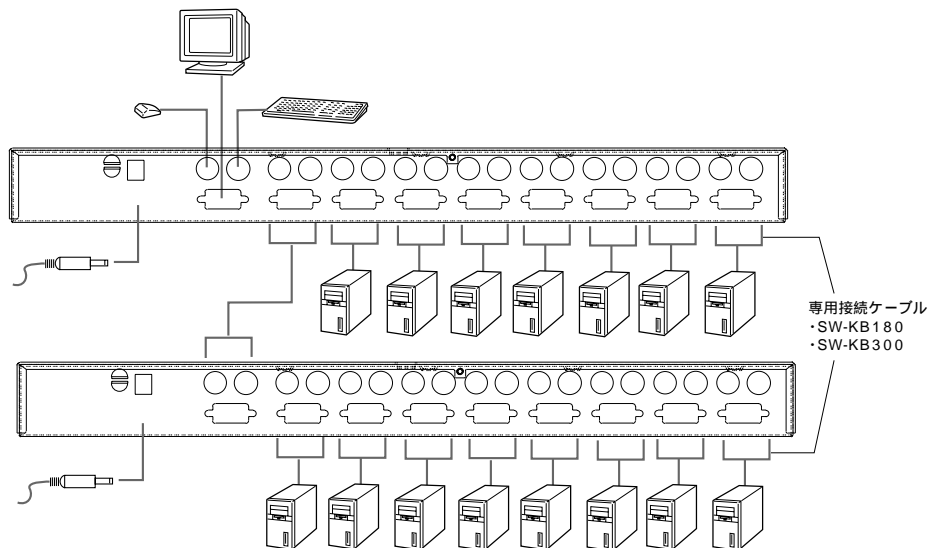


図2.3 カスケード接続

2段階目のCPUポートのモニター・キーボード・マウスのコネクタに、使用するパソコンに接続してあるSW-CPU8専用ケーブルを接続します。(図2.3参照)

2段階目のSW-CPU8、それぞれの電源コネクタにACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

1段階目のSW-CPU8の電源コネクタにACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。



注意

カスケード接続では、必ず、下記の順序で電源をオンにしてください。

- 1) 2段階目のSW-CPU8の電源をオンにします。
- 2) 1段階目のSW-CPU8の電源をオンにします。
- 3) すべてのSW-CPU8の電源がオンになってから、各パソコンの電源をオンにします。

パソコンの接続 (続き)

カスケード(3段階)接続する場合

SW-CPU8は3段階目までのカスケード接続が可能です。たとえば、図2.4のように2段階目のSW-CPU8を8台にし、それぞれのCPUポートに別のSW-CPU8を3段階(合計64台)でカスケード接続した場合、最大512台までのパソコンを接続することができます。

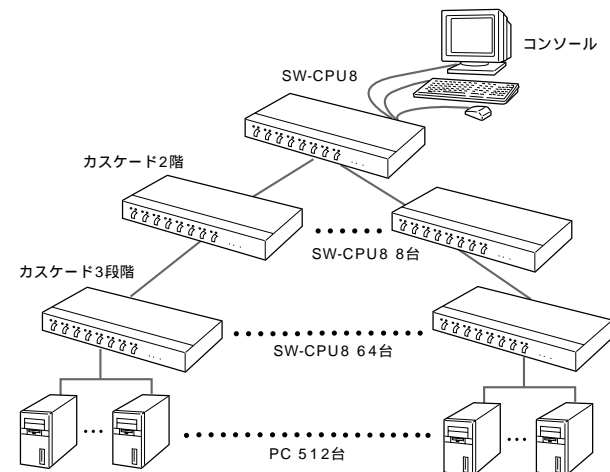


図2.4 カスケード(3段階)接続512台の例



注意

カスケード接続をする場合は同機種のSW-CPU8を使用してください。異なった機種を使用すると、ホットキーやOSDによるCPUポート切替えが行えません。

接続するすべての機器の電源をオフにします。1段階目、2段階目でACアダプターを使用している場合は、それぞれの電源からプラグを外してください。

3段階目で使用するパソコンにSW-CPU8専用ケーブルを接続します。

2段階目のCPUポート(1~8のいずれか)と、2段階目のSW-CPU8のコンソールポートをSW-CPU8専用ケーブルで接続します。(図2.5参照)

3段階目のCPUポートのモニター・キーボード・マウスのコネクタに、使用するパソコンに接続してあるSW-CPU8専用ケーブルを接続します。(図2.5参照)

3段階目のSW-CPU8、それぞれの電源コネクタにACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

2段階目のSW-CPU8、それぞれの電源コネクタにACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

1段階目のSW-CPU8の電源コネクタにACアダプターを接続し、ACアダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

接続しているすべてのパソコンの電源をオンにします。

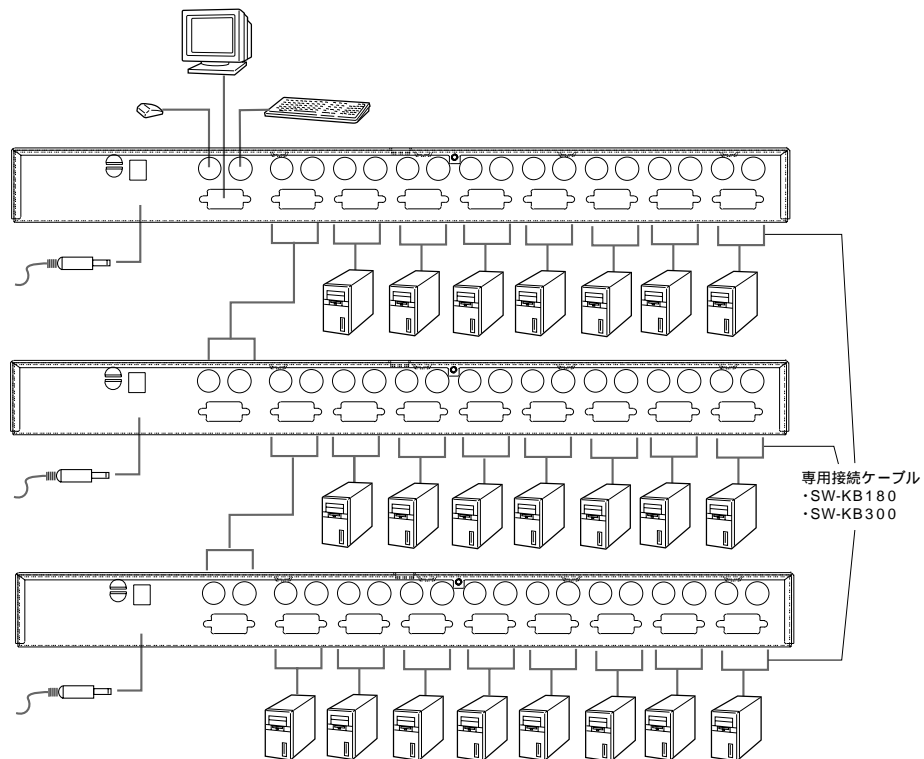


図2.5 カスケード接続



注意

- 3段階のカスケード接続では、必ず、下記の順序で電源をオンにしてください。
- 1) 3段階目のSW-CPU8の電源をオンにします。
 - 2) 2段階目のSW-CPU8の電源をオンにします。
 - 3) 1段階目のSW-CPU8の電源をオンにします。
 - 4) すべてのSW-CPU8の電源がオンになってから、各パソコンの電源をオンにします。

ホットプラグについて

SW-CPU8はホットプラグに対応しています。そこでモニター・キーボード・マウスの取外しや追加の際、SW-CPU8の電源をオフする必要がなく、CPUポートからケーブルを抜き差しするだけで可能です。また、ホットプラグを正しく動作させるには、下記のような点に注意してください。

[コンソールポートのホットプラグ]

コンソールポートからマウスを外して、再度同じマウスを接続する場合、そのまま同じマウスを使用することができます。

コンソールポートからマウスを外して、別のマウスを接続する場合は、下記の作業が必要になります。

すべてのSW-CPU8とパソコンを10秒間シャットダウンさせます。

すべてのSW-CPU8とパソコンを再起動します。

10ページの「電源のオン/オフについて」を合わせて参照してください。



注意

ホットプラグ後など、マウスやキーボードが正しく反応しなくなった場合は、1段階目のSW-CPU8のポートセレクトボタンの1と2を同時に押しながら(3秒間)キーボードとマウスをリセットしてください。

[CPUのホットプラグ]

CPUポートからケーブルを抜いて差し直す場合は、抜く前と同じポートにケーブルを差し込みます。

マウスケーブルはキーボードケーブルより先に差し込みます。

ケーブルを再度差し込んだ後、1段階目のSW-CPU8をリセットする必要があります。この場合、本体のリセットボタンを押してください。

電源のオン/オフについて

1台のSW-CPU8の電源をオフにする必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

1段階目のSW-CPU8に接続されたすべてのパソコンの電源をオフにします。次にカスケード接続されているすべてのSW-CPU8とパソコンの電源をオフにします。



注意

キーボードパワーがオンになる機能を持つパソコンの場合は、電源コードをすべて抜いてください。抜かない場合、SW-CPU8にはパソコンから電源が供給されます。

10秒間待機後、カスケード接続された最後の段階のSW-CPU8から電源をオフにしたときと同じ順序でSW-CPU8の電源をオンにしていきます。

すべてのSW-CPU8の電源がオンにした後、カスケード接続された最後の段階のパソコンから電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしていきます。

パソコン(CPUポート)の切り替え方

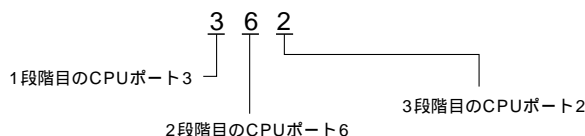
ポートを指定してパソコンを切り替えるには、「手動切替」「ホットキー」「OSD(オンスクリーンディスプレイ)」という3つの方法があります。

ポートID番号について

CPUポートは、ポートID番号が決められています。ホットキーやOSDメインメニューでは、ポートID番号を指定し、どの段階に接続されているパソコンでも切り替えることができます。

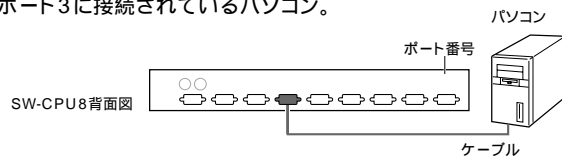
ポートID番号は、次のようにカスケード接続の段階によって最大三桁の数字で表されます。SW-CPU8が1台で使用されている場合は一桁、2段階のカスケード接続の場合は二桁、3段階のカスケード接続の場合は三桁になります。また、各桁の1～8の数字はCPUポートの番号です。

【ポートID番号が三桁の例】



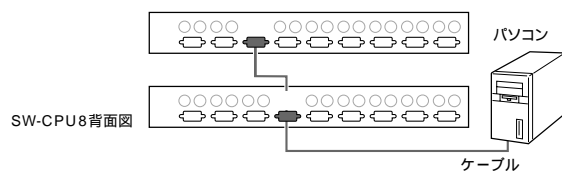
SW-CPU8が1台の場合 例:ポートID番号「3」

SW-CPU8が1台の場合、CPUポート3に接続されているパソコン。



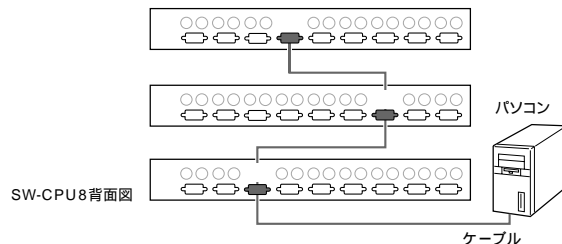
カスケード接続(2段階)の場合 例:「23」

2段階のカスケード接続で、1段階目のCPUポート2に2段階目のSW-CPU8がカスケードされ、2段階目のCPUポート3に接続されているパソコン。



カスケード接続(3段階)の場合 例:「362」

3段階のカスケード接続で、1段階目のCPUポート2に3段階目のSW-CPU8が、さらにその2段階目のCPUポート6に3段階目のSW-CPU8がカスケードされ、3段階目のCPUポート2に接続されているパソコン。



パソコン(CPUポート)の切り替え方(続き)

手動での切り換え

正面にあるポート切り替えボタンを押してパソコンを切り替える方法です。

切り替えたいパソコンが接続されたポート切り替えボタンを押します。ポート用ランプ(下)が緑色で点灯します。



注意

カスケード接続で、2段階目、3段階目のパソコンに切り替える場合は各段階の切り替えボタンを押してください。1段階目のポートは切り替える必要がありません。

ホットキーでの切り換え

ホットキーは、キーボードで[Ctrl][Alt][Shift]キーと押した後、ポートID番号を指定してパソコンを切り替える方法です。手順は以下ようになります。

ポートID番号の見方については、16ページ「ポートID番号について」を参照してください。

SW-CPU8が1台の場合 例:ポートID番号「5」

[Ctrl]-[Alt]-[Shift] 5 [Enter]

カスケード接続(2段階)の場合 例:ポートID番号「23」

[Ctrl]-[Alt]-[Shift] 2 3 [Enter]

カスケード接続(3段階)の場合 例:ポートID番号「241」

[Ctrl]-[Alt]-[Shift] 2 4 1 [Enter]



注意

- ・ポートID番号の数値は、テンキーからではなくフルキー側の数字キーから入力してください。
- ・各キーは同時にではなく、下記の順番で続けて押します。
[Ctrl]-[Alt]-[Shift]-ポートID番号-[Enter]
それぞれのキーは1秒間隔以内で入力してください。

OSDでの切り替え

13ページ「OSDでの切り替え」で詳しく説明しています。

OSDでの切り替え

OSD(オンスクリーンディスプレイ)は、画面のメニュー操作によりパソコンを切り替えるためのインタフェースです。カスケード接続により、パソコンの台数が多くなった場合などに便利な機能です。

OSDメインメニュー画面の表示

下記の手順でOSDメインメニュー画面を表示します。

[Ctrl]キーを2回押します。



注意

- ・[Ctrl]キーは、左右どちらか、同じ側のキーを押してください。
- ・ホットキーを[ScrollLock]キーに変更している場合は、[ScrollLock]キーを2回押してください。参照17ページ「[F6]SET」

下記のようなメニュー画面が表示されます。

LIST:ALL			
PN	QU	PC	NAME
1			
2		+	
3			
4		+	
5			
6			
7			
8			

F1 GOTO F2 SCAN F3 LIST F4 QU F5 EDIT F6 SET

[メニューの見方]

PN

ポートID番号を示します。

参照 11ページ「ポートID番号について」

QU

クイックビュースキャンの対象となるポートをマークで示します。

PC

接続されているパソコンが電源オンであることを+マークで示します。

NAME

CPUポートに名前が設定されている場合、その名前を表示します。

参照 17ページ「[F5]EDIT」

OSDでの切り替え(続き)

ファンクションキー

各ファンクションキーを押すと、サブメニューを使ってポートの切り替えやスキャン、設定の変更などをすることができます。詳しくは各ファンクションキーの説明を参照してください。

[F1]GOTO

ポートを切り替えるときに選択します。

参照 15ページ「[F1]GOTO」

[F2]SCAN

クイックビュースキャンでポートを切り替えるときに選択します。

参照 15ページ「[F2]SCAN」

[F3]LIST

クイックビュースキャンの検索条件を設定するときに選択します。

参照 16ページ「[F3]LIST」

[F4]QV

クイックビュースキャンの対象になるポートを設定するときに選択します。

参照 16ページ「[F4]QV」

[F5]EDIT

ポートの名前を設定・変更するときに選択します。

参照 17ページ「[F5]EDIT」

[F6]SET

OSDの設定を変更するときに選択します。

参照 17ページ「[F6]SET」

OSDでの切り替え(続き)

OSDでの基本操作

ポートの切り替えについて

[F1]GOTOによるポートの切り替えと、ハイライトバーを切り替えたいポートに移動して[Enter]を押すことにより切り替えることができます。またホットキーでも切り替え(12ページ)操作が可能です。

メニューを閉じる

[Esc]キーを押すと、サブメニューを閉じます。メインメニューがアクティブの場合にはOSDを終了します。

画面のスクロール

メインメニュー画面のリストを一行ずつスクロールさせる場合は []キーを押します。メインメニュー画面を1画面ごとにスクロールさせる場合は[PageUp][PageDown]キーを押します。

[F1]GOTO

[F1]キーを押すと、次の2つうち、いずれかの方法で切り替えるポートを選択することができます。

ポートID番号を指定して切り替え

ポートの名前を指定して切り替え



注意

GOTOでは特定の名前を検索してリストに表示することができます。例えば、最初の文字をaと入力すると、名前がaから始まるポートだけを、abと入力するとabで始まるポートだけを表示します。

[F2]SCAN

下記の手順でクイックビュースキャンを使って、切り替えるポートを選択することができます。

[F2]キーを押すとクイックビュースキャンが開始されます。表示されるリストは[F3]LISTで指定されている範囲になります。また、スキャン中の表示時間は[F6]SETで設定されている時間になります。

切り替えたいポートが表示されたら、[空白]キーを押してスキャンを停止します。

切り替えたいポートにハイライトバーを移動して[Enter]キーを押します。



注意

- ・スキャン中はポートID番号の前に[S]マークが表示されます。
- ・空いているポートや接続しているパソコンの電源がオフのポートで、ストップするとモニターのスクリンには何も表示されず、マウスとキーボードは使用できません。元の状態に戻すには、「ホットキーでの切り替え」の手順で、アクティブなパソコンのポートID番号を指定してください。

OSDでの切り換え(続き)

[F3]LIST

クイックビュースキャンを実行する際の検索条件を設定することができます。

[F3]キーを押すとサブメニューが表示されます。

ALL

パソコンが接続されているすべてのポートID番号や名前を表示します。

QVIEW

[F4]QVでクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのみを表示します。

POWERED ON

接続されたパソコンの電源がオンになっているポートのみを表示します。

POWEREDON+QVIEW

[F4]QVでクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのうち、パソコンの電源がオンになっているポートのみを表示します。

QVIEW+NAME

[F4]QVでクイックビュースキャンの対象として設定されているポートのうち、名前が設定されているポートのみを表示します。

NAME

名前が設定されているポートのみを表示します。

サブメニューで設定したい項目を選択し、[Enter]キーを押します。

[F4]QV

下記の手順で、[F2]SCANで実行するクイックビュースキャンの対象となるポートを設定します。

クイックビュースキャンの対象にするポートにハイライトバーを合わせます。

[F4]キーを押します。QV欄に▶マークがついてクイックビュースキャンの対象であることを示します。設定を解除するときは、解除するポートにハイライトバーを合わせて[F4]キーを押します。

OSDでの切り替え(続き)

[F5]EDIT

各ポートに名前を付けておくと、切り替えるパソコンなどを探しやすくなります。以下の手順でポートに名前を設定したり、変更することができます。

名前を設定・変更したいポートにハイライトバーを合わせます。

[F5]キーを押します。

名前を入力、または修正・削除します。ポートの名前に使用できる文字数の最大15文字までで、下記の文字を使用することができます。

すべてのアルファベット:A - Z

すべての数字:0 - 9

記号「+」「-」「/」「:」「」およびスペース



注意

- ・入力したアルファベットは全て大文字として認識されます。
- ・キー配列は101キーボードとして認識されますので日本語キーボードをお使いの場合は記号の入力にご注意ください。

入力文字 キーボード

「+」 Shift+「^」

「-」 同じ「_」

「/」 同じ「/」

「:」 「+」(Shift+「;」)

「」 同じ「」

設定後[Enter]キーを押します。

[F6]SET

下記の手順でOSDの初期設定を変更することができます。

[F6]キーを押します。

サブメニューで変更したい項目を設定します。

ポインタのアイコンは、現在設定中の内容を示しています。

CHANNEL DISPLAY MODE

ポート情報の表示項目を下記から選択します。

ポート番号+CPUポートの名前(PN+NAME);ポート番号のみ(PN);CPUポートの名前のみ(NAME)

初期設定 = ポート番号 + CPUポートの名前

CHANNEL DISPLAY DURATION

ポートID番号をCPUのポートを変更してから、どのくらいの間表示するかを設定します。

3秒;常にオン

初期設定 = 常にオン

OSDでの切り換え(続き)

CHANNEL DISPLAY POSITION

スクリーン上でのポートIDの表示位置を設定します。矢印、PageUp、PageDown、Home、End、5(NumLockをオフにしたテンキー)で、ポートID表示の位置を移動し、[Enter]キーを押して位置を固定後、設定のサブメニューに戻ります。

初期設定 = 3秒間

SCAN DURATION

クイックビュースキャンモードで選択したポートの表示時間を、下記のいずれかで設定します。

3,5,10,15,20,30,40,60秒

初期設定 = 3秒間

OSD ACTIVATING HOTKEY

OSDのメインメニューを表示するためのホットキーを選択します。[Ctrl I Ctrl]または[ScrollLock I ScrollLock]。

初期設定では[Ctrl]キーの組み合わせになっていますが、この組み合わせでパソコンのプログラムの作動中にコンフリクトを起こす場合は、[ScrollLock]キーを使用するように変更してください。

SET PASSWORD

以下の機能を利用する際、パスワードを設定することができます。

NameListの消去;初期設定値を元に戻す;コンソールのロックまたはアンロック18ページ

「OSD用のパスワードの設定」を合わせて参照してください。

CLEAR THE NAME LIST

リストからすべてのポートの名前を消去します。この場合、確認のメッセージが表示されるので、[Y]キーを入力して[Enter]キーを押すと消去が実行されます。消去中と消去後は、その旨を示すメッセージが表示されます。

RESTORE DEFAULT VALUES

すべての設定を、ユニットメーカー出荷時の初期設定に戻します。この場合、確認のメッセージが表示されるので、[Y]キーを入力して[Enter]キーを押すと初期設定が実行されます。実行中と実行後は、その旨を示すメッセージが表示されます。

LOCK CONSOLE

コンソールをロック/アンロックします。コンソールをロックすると、現在選択されているモニターのスクリーンのみが表示され、コンソールでの情報入力や他のポートへの切り替えができなくなります。

パソコンを切り替えるにはアンロックします。パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力が必要です。パスワードが設定されていない場合は[Enter]キーを押します。

OSD用パスワードの設定

パスワードを設定しておく、OSDのメインメニューを表示する際にパスワードの入力が必要になります。OSDの設定でセキュリティを確保したい場合は、パスワードを設定しておくことをおすすめします。パスワードは下記の手順で設定します。

[Ctrl]キーを2回押して、OSDのメインメニューを表示します。

[F6]キーを押してSET用のサブメニューを表示します。

ハイライトバーをパスワードの設定(Set Password)に合わせ、[Enter]キーを押します。

現在のパスワードを入力して[Enter]を押します。(初期設定は何も入っていません)

新しいパスワードを入力して[Enter]キーを押します。新しいパスワードは8文字以内で、アルファベットと数字を組み合わせてください。(A~Z、0~9)。

確認のため再度新しいパスワードを入力して[Enter]キーを押します。設定が完了すると「SET PASSWORD OK」のメッセージが表示されます。「PASSWORD NOT MATCH」と表示された場合は、入力に間違いがあるため、パスワードを入力し直してください。



注意

- ・以前のパスワードを修正・削除する場合は、上記の手順4.で、[Backspace]キーか[Delete]キーでパスワードを削除してください。
- ・パスワードを忘れるとOSDの操作ができなくなりますので、パスワードを忘れないようご注意ください。

本体の積み重ねやラックへの取り付け

SW-CPU8本体を積み重ねたり、ラックに取り付けることができます。

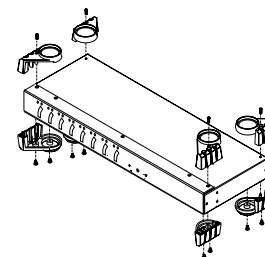
積み重ねについて

SW-CPU8本体には、あらかじめ積み重ね用のプラスチックの台座が取り付けられています。上の台座は凸面、下の台座は凹面の形状をしています。積み重ねる場合は、下に置くSW-CPU8の上の台座と、上に置くSW-CPU8の下の台座をかみ合わせて置くようにしてください。

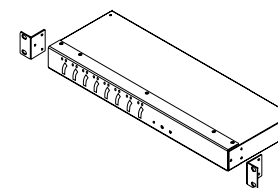
ラックへの取り付けについて

ラックに取り付けるときは、下記の手順で付属のラックマウント取り付け金具を使用します。

始めに積み重ね用の台座をSW-CPU8本体から取り外します。この場合、下図に示すネジを外します。



下図を参考にSW-CPU8の正面寄りの両側に、ラックマウント取り付け金具をネジで取り付けます。



SW-CPU8をラックに収納し、ネジで固定します。

SW-CPU8とパソコンの接続表

以下の表は、SW-CPU8の台数と接続できるパソコンの台数を示しています。

SW-CPU8	パソコン(台)	SW-CPU8	パソコン(台)	SW-CPU8	パソコン(台)	SW-CPU8	パソコン(台)
1	8	20	134-141	39	267-274	58	400-407
2	8-15	21	141-148	40	274-281	59	407-414
3	15-22	22	148-155	41	281-288	60	414-421
4	22-29	23	155-162	42	288-295	61	421-428
5	29-36	24	162-169	43	295-302	62	428-435
6	36-43	25	169-176	44	302-309	63	435-442
7	43-50	26	176-183	45	309-316	64	442-449
8	50-57	27	183-190	46	316-323	65	449-456
9	57-64	28	190-197	47	323-330	66	456-463
10	64-71	29	197-204	48	330-337	67	463-470
11	71-78	30	204-211	49	337-344	68	470-477
12	78-85	31	211-218	50	344-351	69	477-484
13	85-92	32	218-225	51	351-358	70	484-491
14	92-99	33	225-232	52	358-365	71	491-498
15	99-106	34	232-239	53	365-372	72	498-505
16	106-113	35	239-246	54	372-379	73	505-512
17	113-120	36	246-253	55	379-386		
18	120-127	37	253-260	56	386-393		
19	127-134	38	260-267	57	393-400		

ホットキー一覧表

組み合わせ	結果
[Ctrl]+[Ctrl]	OSDメインメニューの表示 (初期設定)
[Scroll Lock]+[Scroll Lock]	OSDメインメニューの表示 (変更した場合)
[Ctrl]+[Alt]+[Shift] [ポートID] [Enter]	ポートID番号でのパソコンの切り替え
[Ctrl]+[Alt]+[Shift] [0] [Enter]	オートスキャンモードの開始

Q1) マウス(キーボード)が動かない

- A1) ・接続用ケーブルでマウスケーブルとキーボードケーブルが逆になっていませんか?
 ・マウスボタンに機能を割り付けられるなどの特種なドライバ等をインストールし、使用していませんか?本品をご使用の際はOS標準のPS/2マウスドライバをご使用ください。
 ・1段階のユニットで同時に1と2のボタンを3秒間押ししてマウス(キーボード)をリセットしてください。

Q2) キーボードに内蔵されているマウス用PS/2ポートを利用して使用できるか

- A2) キーボード内蔵のPS/2マウスポートはご利用できません。

Q3) 画面がちらつく(にじむ)

- A3) 切替器モニター間のVGAケーブルは何mでしょうか?VGA信号は非常に劣化しやすいため、できるだけ品質が良く、長さの短いケーブルをご使用ください。

Q4) 例:ポート1に切り替えるとマウス・キーボードが動かない。(他は全て動く)

- A4) ポート1に接続されているパソコンを接続ケーブルごと他のポートに入れ替えて試してください。もし他のポートで動くようであれば、ポート1の不良ということになります。もし他のポートでも動かないようであればパソコンの設定が間違っているか、ケーブル不良ということになります。Q1)をご参考ください。